

領域代表あいさつ

新学術領域研究「ハイブリッド触媒」の終了にあたって

東京大学大学院薬学系研究科・教授

領域代表・A01 班班長 金井 求

kanai@mol.f.u-tokyo.ac.jp

2017年7月に発足した、新学術領域研究「分子合成オンデマンドを実現するハイブリッド触媒系の創製（領域略称名：ハイブリッド触媒）」が、2022年3月をもって終了しました。本領域に研究者としてご参画いただいた先生方や研究員あるいは学生の方々、アドバイザーとして貴重なご意見を賜りました先生方、学術調査官の先生方、事務の方々のご支援とご協力に心より感謝申し上げます。

本研究領域は、独立した機能を持つ複数の触媒の働きを重奏的に活かしたハイブリッド触媒系を創製し、実現すれば大きなインパクトを持つものの従来は不可能であった、極めて効率の高い有機合成反応を開発することを目的としました。ハイブリッド触媒系の創製により、構造が単純で入手容易な原料から優れた機能を持つ付加価値の高い有機分子を、要求に応じて迅速に組み上げる分子合成オンデマンドを実現して参りました。45名の研究代表者のもと（計画研究12名、公募研究33名）、分担者や協力者を含め五年間でのべ500名以上の研究者が関与して、領域研究に全力で取り組んで参りました。その成果は、945件の学術論文、308件の基調・招待講演、133件の受賞、136件のアウトリーチ、191件のメディア報道に結実しています。関係諸先生方のご協力のもとに、非常に多くのハイレベルな共同研究を中心とした領域研究が走り、まさに領域研究と呼ぶにふさわしい成果が挙げられたと思っております。また、多くの若手研究者の昇進があったことも誇るべき成果です。

本領域は終了いたしますが、今後もここで得た研究チームや成果のもとに、新たに世界を牽引する研究を一同続けて参りたいと思っております。なにとぞ今後ともご支援賜れますよう、よろしくお願い申し上げます。誠にありがとうございました。